|  |  |
| --- | --- |
| 響流の森　だより　（園長室だより）　　 | 平成 31年3月14日附属幼稚園　第22号発 行 者　八谷俊一郎 |
| C:\Users\encho\Desktop\H30 写真\年少\2月の遊び\DSC_0043.JPG1年でこんなに成長した年少・年中さん【カードゲームに夢中になっている年少さん】長いように思われた仮園舎での生活も年度末を迎え、1年を終わろうとしていますが、子どもたちは、1年前と比べて数段と成長しました。朝、玄関前で、お母さんの手からなかなか離れようとせずに泣いていた年少さんが、元気に朝の挨拶をし、小さな手を合わせて、「御仏様、お早うございます」と言えるようになりました。草花や虫などの自然の事象に対して興味を持ち、泥団子作りでは、崩れたら作り直し、光り輝くまで磨き続けるという挑戦意欲も持てました。教室内では一人遊びから、カード遊びや自動車ごっこなどの集団での遊びに発展した光景を見ることができるようになりました。担任によると、集団生活を通して、自分の事だけではなく、周りのことにも気配りができ始め、泣いている友達がいるとティッシュを差し出す優しさを発揮できるようになったということでした。年中さんは、集団で遊びを考えるようになったことが一番の成長のようです。園庭で、みんな仲良くボール遊びや鬼ごっこで走り回っている姿を見かけます。一人よりも友達と遊ぶことを好むようになりました。室内では、カプラ（小さな木片を組み合わせて楽しむ遊具）を組み合わせて、橋や道路、線路などを作って楽しんでいます。その結果、友達同士の仲が深まってきたようです。また、集中力も芽生え、コマ回し、折り紙などの遊びには、時間をかけて取り組めるようになり、できた時の喜びを味わっていました。３学期になって、各クラスで鍵盤ハーモニカの練習が始まったようで、「メリーさんの羊」のメロディーが心地よく聞こえてくるようになりました。年長さんになった時のミニ・コンサートが楽しみです。どんな曲に挑戦するかな？ | 小学校入学の準備ができた年長さん　年長さんは、卒園式を間近に控えたこの時期に、心も体も随分と大きく成長したように思います。集団活動を通して、友達に対する優しい心遣いを見せたり、行事を通して、場を考えた行動ができたり、協同性や自立性を発揮しています。小・中学生と比べると、まだ６歳児ですから幼さが残りますが、幼稚園の中で見ると、動き方や話し方などから「大人になったなあ」という感じがしています。すっかり小学校へ進学するための準備ができています。　２月末のお茶会が、緊張感漂う中で厳かに行われました。事前に、先生から簡単なお抹茶の作法や心得などのポイントを学んで臨んだので、着席の正座から和菓子そして抹茶までの一連の所作で、誰一人話をする人がいません。「日頃元気なあの子は？この子は？」と心配することなく、あの子もこの子もみんな、上手にできていました。むしろ、非日常的な出来事に、マナー通りにしなければとの思いから緊張しすぎて、お菓子を食べる時に一口ずつゆっくり時間をかけて食べる子、苦い抹茶も少しずつ味わいながら飲む子が大半でした。ちょっぴり可笑しかったのは、一緒に所作をする１組４人が、何時食べ終えるとよいのか、何時飲み終えるとよいのかとお互いに顔を見合わせながらやっていたことです。日頃の元気のよい子どもたちを知っているだけに緊張した場面でも、子どもたちは、やる時はきちんとやれるものだと感心しました。今、年長の各教室内では、卒園式の練習が始まっています。証書のもらい方、将来の夢・感謝の気持ちの一言メッセージの発表の仕方でも、日に日に上手になっていくのが分かります。先月、劇の発表会で大きな声の出し方をマスターしたので、みんな自信を持って臨んでいるようです。年長の保護者の皆さんは、子どもたちが、どんな夢や思いを語るのか楽しみにしていてください。C:\Users\encho\Desktop\H30 写真\年長\お茶会\DSC_0013.JPG【緊張感漂うお茶会】 |